

鎌倉市教育委員会 令和3年4月定例会会議録

○日時 令和3年(2021年)4月14日(水)
9時30分開会 10時50分閉会

○場所 商工会議所301会議室

○出席委員 岩岡教育長、齋藤委員、長尾委員、下平委員、朝比奈委員

○傍聴者 3人

○本日審議を行った案件

日程1 報告事項

- (1) 教育長報告
- (2) 部長報告
- (3) 課長等報告

ア 鎌倉市教育委員会職員の人事に係る専決処分の報告について

イ 令和3年度(2021年度)鎌倉市学校教育指導の重点及び主な事業について

ウ 令和2年度(2020年度)教育センター実施事業報告について

エ 令和3年度(2021年度)教育センター実施事業計画について

オ 鎌倉国宝館長の委嘱について

カ 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」にかかる取組について

キ 行事予定

(令和3年(2021年)4月14日～令和3年(2021年)5月31日)

日程2 議案第1号

令和3年度(2021年度)教育文化財部工事年間計画について

日程3 議案第2号

令和4年度(2022年度)使用教科用図書の採択方針について

日程4 協議事項

教育委員会の審議会等における書面会議開催等の方針について

岩岡教育長

しばらく新型コロナウイルスにより事務局は部長次長しか出席できなかったが、本日は久しぶりに皆様がお揃いでとても嬉しく感じている。定例会の開催に先立ち、令和3年(2021年)3月24日付で教育委員に就任された長尾委員より就任のご挨拶をいただきいたと思う。

長尾委員

私自身、子どもが二人おり、10歳と16歳の子どもを育てている母親である。教育といった観点に関

しては、永年、興味関心をもっていたが、本日からその一端を担うという重責をきちんと考え、これから取り組んでいきたいと考えている。現場主義、子どもや母親たちの声を重視しながら、それをこの現場で生かしていけるような、そんな活動をしていければと思っているので、どうぞ皆様ご指導のほどよろしく願います。

(令和3年(2021年)4月1日付で事務局職員の人事異動があったため、事務局職員自己紹介を行った)

岩岡教育長

それでは定足数に達したので委員会は成立した。これより4月定例会を開会する。本日の会議録署名委員は朝比奈委員に願います。本日の議事日程はお手元に配付したとおりである。

なお、日程1報告事項ウ「令和2年度(2020年度)教育センター実施事業報告について」及び報告事項エ「令和3年度(2021年度)教育センター実施事業計画について」は関連する内容であるため、一括して報告する事としたいと思うがご異議はないか。

(異議なし)

岩岡教育長

異議なしと認め、日程1報告事項ウおよび報告事項エについては一括議題とさせていただく。では日程に従い議事を進める。

1 報告事項

(1) 教育長報告

岩岡教育長

日程の1、報告事項。まずは教育長報告をする。私からは二つほどお話をしたいと思う。

1点目はスクールコラボファンド、いわゆる社会に開かれた教育過程の実現ということで、ふるさと納税の仕組みを活用して、様々な外部機関、NPO、企業、大学などと連携した教育活動を可能にするためのファンドを募集してきた。3月の日付は忘れてしまったが、750万円という目標金額を達成したので、これから各学校の支援業務、具体的に令和3年度(2021年度)に動き出しているものもあるので、契約事務等を円滑に進めて、学校における魅力的な協力活動の展開を図っていきたいと考えている。来年度も引き続き、今年の実績を踏まえて、さらにファンディング、ファンドレイジングに努めていきたいと思うので、知恵出しや広報など、教育委員も一丸となってやっていければと思うのでよろしく願いたいと思う。

次に4月なので、新しく着任された方々に内示をして、辞令交付を行った。その時に、私がどういう言葉をかけたのかというところが、教育委員会の今年の方針の一つにもなっていくかと思うので、是非ご紹介をしたいと思う。

まずは教員の皆様について、教員は今年新採用職員をたくさん採用し、十数名だったかと思うが、あ

とは他市から転任で鎌倉市にいらっしゃった方々等、多くの方々を新しく鎌倉市の教員としてお迎えすることになり、そこで私から話をしたのは、やりがいのある仕事とは何かという話をした。やりがいのある仕事といえば、従来の古いマネジメント理論ではきちっと成果に対してインセンティブを与えることによって皆はやる気が出るに違いないと、だから頑張った人たちには成果を与えることがこれまでのマネジメント理論だった訳であるが、近年の組織行動論などの中では、三つのことが職員のやりがいに繋がっているとされている。これはダニエル・ピンクという組織行動学者が言っていることだが、モチベーション2.0と言い、一つ目はPurpose、目的。目的がある仕事に人々はやる気がでる。二つ目はMasteryと言うが、これは成長、仕事に成長が見られるということ。最後にAutonomy、これは英語を直訳すると自治であるが、これをもう少しわかりやすくいうと裁量。目的、成長、裁量、この三つがある時に人々は喜んで仕事ができるのだとされていることを紹介した。例えば、グーグルという会社が自分の仕事の時間の3割を好きな時間に当てていいという方針を出しているのも、まさにこういった考え方からきていると思う。この三つの目的、成長、裁量というのは必ずしも与えられるものではなくて、自分で作っていかなくてはいけないという話を教員の皆様にした。日々の仕事、教育過程をこなすだけになってしまうと自分はなんのために教育を行っているのか、どういった大きな社会的目的のために自分は仕事をしているのかが段々見えなくなっていったりする。あと成長の面でも教員が経験だけで成長ができるのは8年目までというのが教育経済学の通説になっているが、その8年目以降、自分がきちっと授業を研究して成長していくための基盤を作れていなかったら、その先生というのはなかなか成長ができなくなっていくので、8年目までに自分が成長できる基盤をしっかりとどう作るのかということである。あとは裁量、裁量は日々の仕事に忙殺されてしまってなかなか価値のある活動に時間が割けないことに対して、自分は何もできないと思ってしまったらそこまでであるが、どれだけ仕事を効率的に処理するのか、その中で自分の時間をどのように価値ある授業作りに割いていけるのかは努力によって生み出せるものもある。この三つの仕事を、目的、成長、裁量というところを教員が自分で作っていく努力もして欲しいし、管理職の皆様には教員にこうした環境を生み出すことを考えて欲しいというお話をした。これは教育委員会の中の仕事のやり方としても同じだと思うので、それぞれの職員が目的と成長と裁量を感じながら仕事ができる環境というのを、教育現場と行政現場の両方で作っていきたいと感じた次第である。

二つ目は管理職の皆様、新任の管理職の皆様に申し上げたことである。管理職の皆様は定年で多くの先生方がお辞めになったことから、多くの新任の先生方を迎えることになり、私が申し上げたのは目的を問い直すということである。普段から運動会等の様々な学校行事、教育過程も含めて色々なことを学校としてやっている訳であるが、それは何のためにやっているのだろうかを常に問い直して欲しいということをお願いした。問い直した時に、何を意義とを感じるのか、何を目的にするのかという根本に立ち返る訳であるが、その根本としては、20年後の未来、子どもたちに必要な力を付けられているのだろうかを視点にして欲しいということをお願いした。子どもたちは今の社会で大人になる訳ではなく、20年30年後の未来で大人にならなければいけないので、その時の社会像を把握して、そこから目的や意義を考えて欲しいということである。そうした教育課程を社会と協働して実現していこうと、そうして「わくわくする学校」という言葉をよく使うが、教員も子どもたちもわくわくする学校を作っていこうという話をした。様々な取組を教育委員会でこれから行っていき、今もやっているところであるが、こうした学校管理職や教員の皆様の環境というものをしっかりと整えていくことが非常に重要だと思うし、文

化財の分野においても、今文化財をどうやって守っていくかも非常に大事であるが、20年先、持続可能なものになっているかどうかといった視点もしっかり取り入れながら仕事ができたらいいと思う。年度初めにあたり、教員の皆様に私の申し上げたことではあるが、教育委員会の仕事の進め方としても同じだと思ったのでご紹介差し上げた。私からは以上であるが、委員の皆様から何かご報告等あるか。

下平委員

今、熱い思いを教育長から伺い、その中にモチベーション2.0の話があったが、管理職の立場として、リーダーの立場としてやりがいを導くためには、今おっしゃったことはもちろん大切なことなのだが、それにプラスして、例えばここで私が認められているということ、ここにいれば私が成長できるという思い、これが無いと今の時代ではついてこれない、やりがいを感じられないと言われている。今日は教育センターからの報告もあるが、なかなか研修も実施できないという状況がこの先当分続くであろうということももちろんある。そうなってくると、自分が認められている、それから自分がここで成長できるという実感、これを私たちが皆等しく欲している世の中であるため、こういう時だからこそ、いつも以上にアイコンタクトをしたりとか、声をかけるとか、笑顔を交わすとか、ひと声プラスアルファをするという思いが、今の世の中とても大事だと思う。お互いが生きがい失わないような社会、働きがい失わない、そんな教育現場であるために、私たちがしっかりと認めあうということ、人は人によって癒されるし、人は人によってエネルギーをもらえるので、心しなくてはいけないことだと思う。私たちが教育長の想いを忘れないように努めたいと思う。

(2) 部長報告

教育文化財部長

本日は1点、ご報告とお詫びをさせていただければと思っている。本日の課長等報告のうち、「令和2年度(2020年度)教育センター実施事業報告について」は、先の3月定例会において報告した報告事項であるが、定例会終了後、報告資料に誤りがあることが判明したので、その点についてご報告させていただくとともに、お詫び申し上げたいと思う。このため、本日改めて課長等報告をさせていただくので、よろしく願います。教育委員会の事務局として、合議体であるこの教育委員会の皆様の自由、かつ率直な意見交換のできる場に、このような事態が起こってしまったのであるが、今後、再発防止と適切かつ慎重な対応を図ってまいりたいと思う。

(3) 課長等報告

ア 鎌倉市教育委員会職員の人事に係る専決処分の報告について

岩岡教育長

次に課長等報告に移る。報告事項のア「鎌倉市教育委員会職員の人事に係る専決処分の報告について」、報告をお願いする。

教育文化財部次長兼教育総務課長

報告事項ア「鎌倉市教育委員会職員の人事の専決処分について」報告する。令和3年(2021年)4月1日付の人事異動については、3月22日開催の教育委員会臨時会において議決をいただいたところであるが、その後、その内容に一部変更が生じた。本来であれば、再度教育委員会にて協議すべきものであるが、教育委員会に提案する時間的余裕が無かったことから、鎌倉市教育委員会事務の教育長への委任等に関する規則第2条第2項に基づき、令和3年(2021年)3月30日に専決処分を行ったため、同規則第5条の規定により、報告するものである。議案集1ページから2ページまでをご覧ください。その内容については、業務全体の状況を鑑みて、文化財課の永田職員を文化財担当の係長から、史跡担当の係長へ担当替えしたことから、それに伴い、野島職員の歴史まちづくり推進担当主査兼務を外し、永田職員が同職を兼務することとした。

(質問・意見)

特になし。

(報告事項アは了承された)

イ 令和3年度(2021年度)鎌倉市学校教育指導の重点及び主な事業について

岩岡教育長

次に報告事項イ「令和3年度(2021年度)鎌倉市学校教育指導の重点及び主な事業について」、報告をお願いします。

教育指導課長

報告事項イ「令和3年度(2021年度)鎌倉市学校教育指導の重点及び主な事業について」ご説明する。議案集は3ページから18ページをご参照いただきたい。令和3年度(2021年度)学校教育指導の重点は3月17日教育委員会にてご承認いただいたとおり、「新しい時代を生きる児童・生徒の豊かな学びにつながる教育活動の推進」、そしてサブテーマを「子どもたちがワクワクしながら学べる学校教育にむけて」としている。続いて、令和3年度(2021年度)の教育指導課の主な事業についてを説明する。議案集4ページをご覧ください。前年度からの大きな変更点をご説明する。1点目は「鎌倉市学校教育指導の重点」である。こちらは先ほど説明したとおりとなる。2点目は「特別支援教育の推進・充実及びインクルーシブ教育の推進」で、特別支援学級の開設と準備であるが、今年度は今泉小学校に特別支援学級を開設した。関谷小学校が今年度開設準備ということになる。3点目として、「推進事業」について見直しを行い整理した。新しくICT環境整備事業を加え、(3)としている。(2)の情報教育事業と内容の整理をした。また(5)としてコミュニティ・スクール推進事業を加えている。最後に令和3年度(2021年度)学校関係年間計画一覧を添付している。

(質問・意見)

岩岡教育長

4 ページの学校教育指導の重点の箱の中に入っているところで、「子どもたちがワクワクしながら」の前に、「全ての」が入っているということによろしいか。単純に脱字であるということか。

教育指導課長

脱字である。

岩岡教育長

プログラミングをやる時も、特定のプログラミングが好きな子どもたちだけがワクワクするということではいけない訳である。学校という集団的活動の中ではどうしても学校に馴染みにくい生徒も出てくるので、そういった子どもたちに対してもワクワクできる環境をどのように作っていきるのが非常に重要なテーマだと思うので、「全ての」という言葉が重要かと思い一応確認をした。

(報告事項イは了承された)

ウ 令和2年度(2020年度)教育センター実施事業報告について

エ 令和3年度(2021年度)教育センター実施事業計画について

岩岡教育長

次に報告事項ウ「令和2年度(2020年度)教育センター実施事業報告について」及び報告事項エ「令和3年度(2021年度)教育センター実施事業計画について」、報告をお願いします。

教育センター所長

報告事項ウ「令和2年度(2020年度)鎌倉市教育センター事業報告について」、3月の定例会にてご報告した際に資料に誤りがあったことをお詫びする。改めて「令和2年度(2020年度)鎌倉市教育センター実施事業報告について」説明させていただく。議案集19ページ及び別冊の令和2年度(2020年度)事業報告の6ページをご覧いただきたい。令和2年度(2020年度)の研究会の活動内容を記載した。各研究員は鎌倉の教育のために熱心に研究推進に取り組んだ。(4)幼児教育研究会が今年度の研究のまとめになっている。研究の取組みをまとめた報告書を、まとまり次第、各学校、市内各園に配付し、活用等を校長会にもお願いしているところである。

7ページから9ページをご覧いただきたい。「ア 実践的な指導力向上のための研修」の報告を記載した。令和2年度(2020年度)はコロナ禍の影響で集合研修のほとんどが中止となったが、スタートした各学校に指導主事を派遣する形で行うGIGAスクール校内研修会では全ての学校で実施となった。

11ページをご覧いただきたい。「イ 基本研修」の「初任者研修」及び「1年経験者研修」について報告をさせていただく。令和2年度(2020年度)の初任者研修対象者は8名であった。初任者研修は神奈川県立総合教育センターが主催する研修と、各学校における校内研修、鎌倉市教育センターが行う研修がある。鎌倉市教育センターが行う研修は年間4回あり、そのうち2日間は夏季休業中に行う。令和

2年度（2020年度）は宿泊研修を見送り、教育支援教室ひだまりの1階会議室で行った。2月2日には最後の初任者研修会を実施した。緊急事態宣言中ということもありオンライン開催とした。教育長講話の後、SDGsと授業作りというテーマでオンライン上でグループに分かれて協議を行った。続いて1年経験者研修である。令和2年度（2020年度）の対象者は21名であった。研修の内容は指導主事が訪問して研究事業と授業力向上のための選択研修、そして各学校における各自の課題解決研究である。1月29日には令和2年度（2020年度）鎌倉市1年経験者研修研究協議会をこちらもオンラインで開催した。事故、不祥事防止とインクルーシブ教育に関わる研修、一人一人の課題解決に向けた取組に関するグループ協議を実施し、1年間の振り返りを1年経験者研修の仲間と共有した。ウ 鎌倉市教育指導員については年間240回の派遣があり、延べ498人の教員への指導を実施した。

13ページには教育情報事業について記載した。各種発行物により先生方への教育情報の提供や教育センター事業の広報活動に努めてきた。

14ページをご覧ください。（1）では県内の研究所連盟との連携事業、（3）には市庁舎見学等の一覧についてまとめてある。多くが中止、書面開催となった。

14ページ（1）相談指導事業について、ア 相談業務における心理検査は平成30年度（2018年度）より開始し、令和2（2020年度）年度は13名の児童生徒が検査を受け、その結果を学校・保護者にフィードバックし、子どもたちの支援に生かしていただいている。一方で検査をとった後に相談が途切れてしまうケースもあり、アフターフォローの充実が課題と考えている。「いじめ相談ダイヤル」は10件の相談があり、うち6件は小学生、中学生に関する相談が1件であった。小・中学生についてはすべて保護者、市民といった大人からの相談であった。匿名でないケースについては、学校に支援を働きかけていづれも状況が好転している。webでのいじめ相談については、令和2年度（2020年度）は3件あった。こちらも学校名などが判明しているものは学校と協力して対応し状況が好転している。いじめ相談ダイヤルの件数は増加したが、10件のうち8件は匿名で対応できないケースが目立った。

15ページ（2）ア 教育支援教室「ひだまり」の通室状況であるが、令和2年度（2020年度）現在の登録者が中学生11名、小学生6名、最近の傾向として小学生の通室が増えてきている。中学校3年生の登録者は現在7名おり、在籍校と連携して全員の進学先が決定した。年間通しての教育センター相談室利用状況については5月の定例会にて改めてご報告する。以上で令和2年度（2020年度）教育センター事業報告を終わる。

引き続き、報告事項エ「令和3年度（2021年度）教育センター実施事業計画について」、説明させていただく。令和2年度（2020年度）は新型コロナウイルス感染拡大予防のための対応で、特に研修会の実施について中止せざるを得ない状況となった。今年度の実施にあたっては、引き続き感染予防対策を取ると共に、内容によって集合研修だけではなく、オンライン研修なども取り入れ、研修の機会を確保していきたいと考えている。それでは議案集20ページ、別紙資料「令和3年度（2021年度）事業計画（案）」の6ページ、オ 調査研究会・教育研究員をご覧ください。幼児教育研究会の研究員については今年度新しいメンバーでの研究が始まる。

7ページをご覧ください。「市教育センター企画研修会」を掲載している。

8ページをご覧ください。今年度は各学校のニーズに応じて各学校を会場とする「学校支援研修会」を全小・中学校で実施する。日付が無い学校については講師と日程の調整中である。

9ページをご覧ください。3年計画の2年目となる「GIGA スクール校内研修会」を各校1回開

催する。

10 ページのイの「基本研修」には、市が実施する初任者研修、1年経験者研修、2年経験者研修を記載した。初任者研修については第1回の初任者研修を4月7日に、新規採用教員全員の参加で実施した。夏季研修は今年度も新型コロナウイルス感染症による神奈川県立総合教育センターの対応に準じ、宿泊は行わず2日間の日帰り研修とする。

13 ページからは「相談室事業」について記載した。14 ページ(2) 教育支援事業のウは3月の定例会で(仮称)鎌倉版 ROCKET として報告したが、名称を鎌倉 ULTLA プロジェクトとして事業を進めていく。

(質問・意見)

岩岡教育長

ULTLA プロジェクトの「ULTLA」の部分について、何故「ULTLA」になったのか、しかも「ULTLA」の本来のつづりは「R」であるが、それが「L」になっているのはなぜか等、色々な疑問があると思う。実はこれには深い意味を込めており、この ROCKET プログラムは東大がやっていたもので逸才を発掘するという、特定の才能を持った子をグッと引き上げるプロジェクトであった訳であるが、鎌倉が目指しているのはそういうことではない。むしろ全ての子どもたちにユニークな学び方や特性があり、そういったことが、学校の求めている特性と上手く合わないと不登校になってしまう訳であるが、そういったお子様の特性を引き出して、個性、特性にあった学びを提供することで、こういう学び方だったら自分を発揮できる、社会に対して価値を与えられるという実感を得られるもの、そういうものを作っていきたいということである。それで「ULTLA」は英語のアルファベットの頭文字をとっているのであるが、直訳すると「学びの最適化と評価を通じた個性の解放」という英語をとっている。「Uniqueness Liberation Through Learning Optimization and Assessment」で「ULTLA」ということである。非常にわくわくする名前になっていると事務局としては考えているところである。

下平委員

今のそれはどこに書いてあるか。事業計画のところか。

岩岡教育長

つづりは書いていない。令和3年度(2021年度)事業計画(案)の14ページに鎌倉 ULTLA プロジェクトと記載している。つづりは書いておくようにする。

下平委員

そうでないと何か間違っているのではないのかとってしまうかもしれない。

岩岡教育長

たしかに誤字かと思ってしまう可能性もある。

下平委員

いつも本当によい企画をしてくださり感謝する。先程も少し申し上げたとおり、こういう状況下でなかなか研修の開催も難しくなっている。私たちが社会人になってから教育や研修の機会があるということは、イコール成功のチャンスであるし、認めてもらっている、大事にしてもらっているという実感にも繋がる。もちろん教員が生きがいをもってウキウキ、わくわくしていることが子どもたちのわくわく、ウキウキに繋がるのは間違いないので、色々な方策を練って、そういう機会をたくさん用意していただきたいというのはつくづく思う。これも冒頭で明らかのように、小・中学生というのは心の状態を上手く表現できないので、今この非常時にあって、頭痛や神経性大腸炎などでお腹が痛いという症状を訴えてくるのは、明らかに小児科でも内科でも心療内科でも増えてきている。まさに1年間こういう状況を強いられた子どもたち、大人ももちろんそうであるが、そういう症状が体に現れ始めているのは間違いではない。いじめはもちろんであるが、こういう子どもたちの微妙な変化に先生も早く気が付いて欲しいし、そういう相談、訳も分からないけれど少し不安であるとか、心配であるとか、真面目なお子様程そういうものを抱えやすいので、重症化しないうちに早くキャッチして対応していただきたいということはくれぐれも先生方にお伝えいただきたいと思っている。

朝比奈委員

様々な工夫をしていただいて感謝している。色々確認しておきたいのであるが、7ページ(2)研修事業のところの鎌倉郷土研究研修会の1番の日程を私がちゃんとイメージできていなかったもので、早速ここは整えさせていただきたいと思う。今年度になってから、浄智寺境内も色々活用する計画書の策定を進めており、是非そういったところのお話も入れさせていただければと思うのでよろしくお願いする。

長尾委員

このような多岐に渡る研修会が行われているのは、実は私は今回始めて認識させていただいた。私も今サラリーマンをやっているが、研修会は育成に関して非常に有効なツールだと思っているのであるが、冒頭の教育長の言葉になるが、目的が大事であると思っている。参加される方々が目的意識を持って、かつ研修を受けただけではなく振り返るところが私は大事であると思っている。研修を実施した、参加したということだけで満足せず、その後、それが繋がれるような交流や活動できるような形を取っていただければという感想を持っている。

岩岡教育長

私から一つ感じたところであるが、現場の先生方に対する色々な課題を解決する研修が含まれていて、その講師の組み方や視点も非常に素敵で、鎌倉らしいものが多いというイメージをもっているのだが、逆に言うと管理職が抱えている学校経営課題に対して支援するような研修や取組が、これまで必ずしもしっかりできていなかったのかと思っている。例えば今後コミュニティスクールという形を考えた時に、どのように地域の力を学校に生かしていけばよいのか。また働き方改革でも、先日そのプラン2を教育委員会としてまとめたのであるが、例えば給食の公会計等、教育委員会としてしっかりできることは当然あると思うのであるが、教員の皆様の自由記述を見ていると、特定の人に仕事が集まる、

校務文書は必ずしも効率的ではない、会議の時間が長い、紙資料が多い等、学校経営としてできることもたくさんある訳である。先生方のキャリアパスを見ていくと、総括教諭まではこういう研修をたくさん受けられる訳であるが、教頭、校長になるにあたってのマネジメントスキルを磨くような研修というのは実はなく、県でやっている研修もあるのだが、不祥事対応等が多いのである。学校の経営課題を解決するような研修が必ずしもある訳ではないということを考えると、校長や教頭がわくわくする学校経営ができるようなところにアプローチすることも非常に重要なのではないかという視点を持っており、そういう視点でも考えていければいいのかとも思っている。学校も年間計画を決めているので今から突っ込むのはなかなか難しい面もあるかも知れない。

教育指導課長

やや私的な部分での話にはなってしまうが、やはり教頭職、校長職になった時の研修というと、県の研修となり、確かに不祥事のことが多い。では、教頭職、校長職の魅力というものは一体何なのだろうということであるが、去年行った中で言えば、私設の小学校の教頭会等では集まって1時間、2時間ぐらいに渡って教頭職の魅力を伝えていこうという思いを持ちながら、自分たちはどのような学校経営マネジメントをして、そのマネジメントをすることの楽しさであったり、そういった魅力を発掘したりして、それを次世代に繋げていきたいという思いを持ちながら、研究をしているという場面は多々あった。そういったところから波及していくためには、教頭職としてどうやっていこうというのは、今のところは横のつながりでやっている部分が凄くあるのだが、研修とかそういった部分でも共有する方がよいのではないかという感想を持っている。

齋藤委員

今の話を伺って、なるほどと納得をしている。それというのも、何年も前に同じような経験をした時、学校で「さあ始めましょう」となった場合に、この先どのように進めていくのかという課題を感じた際には、教頭会、校長会の時にそれぞれが悩みや成功の部分を出すことで助けていただいたと思う。教頭研修、校長研修でどこで何々をしましょうというものとは別として、日常の中で今起こっていることを心を割って話をする、そういう中で無事にクリアできたと思うので、今のお話のとおりであると心強く思う。そういう雰囲気によりよくなっていく、鎌倉市の先生方は特に管理職の横のつながりが実に見事にできていると思う。何かあった時に助け合おう、相談に乗ろうという雰囲気も十分にあることは分かっているので、そういうところでよりよい研修を積みながら、子どもたちのためにも、保護者のためにも頑張ってもらいたいとそんな気持ちを持っている。

岩岡教育長

確かに教育委員会主催研修という形で、こちらで設定したテーマでやるよりは、逆に校長会、教頭会等の中で話題になっていることを、上手に講師を探してくるなりして、横のつながりの中でのディスカッションもセットでやっていくという手法も考えられると思う。どういうやり方があるかというのは別であるが、管理職の経営課題に対するアプローチ、管理職がわくわくする環境作りは凄く大切なことだという共通認識を持てればよいと思っているし、またやり方についてはご相談できればと思っている。

教育センター所長

色々な参考になるご意見をいただき感謝する。私も教頭職をやっていた時に県の研修があったが、そこで聞いてくる一般論といったものよりは、教頭会という集まりが凄く心の支えであったと感じている。ただ、本当に時代が今大きく変わってきている中で、新しい課題を管理職が知って、そしてリーダーシップを取っていかねばいけないというところで考えた時に、昨年度はGIGAスクールを取り入れていくにあたり、管理職にまずは知ってもらう必要があるということで研修会を組んで実施していたし、そういう方面で考えていくこともこの変わり目では重要であると思っている。また、教育長がおっしゃるように、皆で、教育委員会で知恵を絞りながら管理職のバックアップを考えていく必要がある時期なのだと思改めて感じているところであるので、教育センターとしても頑張っていきたいと思う。それから重ね重ね申し訳ないが、お詫びの上で訂正をさせていただきたいのであるが、「令和2年度（2020年度）教育センター実施事業報告」について先程お話しさせていただいたが、その中でお示ししたページが後半のところからずれてしまっており申し訳ない。基本研修、初任者研修などについて報告させていただいた際に11ページをご案内したが正しくは10ページ、教育情報事業として教育センターで行っているものをご紹介しているページは13ページではなく正しくは11ページ、県内の教育連携事業等については14ページではなく正しくは12ページ、ひだまりの事をお話させていただいた際に15ページをご案内したが正しくは14ページであった。

（報告事項ウ及び報告事項エは了承された）

オ 鎌倉国宝館長の委嘱について

岩岡教育長

それでは次に報告事項オ「鎌倉国宝館長の委嘱について」報告をお願いします。

教育文化財部次長兼生涯学習課担当課長

報告事項オ「鎌倉国宝館長の委嘱について」説明する。議案集21ページをご参照いただきたい。鎌倉国宝館前館長の鈴木良明が令和3年（2021年）3月31日に任期満了後に退職したため、4月1日付で清泉女子大学名誉教授の山本勉氏を館長職に委嘱したことを報告する。山本勉氏の経歴はお手元の資料のとおりである。山本館長は昭和28年（1953年）のお生まれで、東京藝術大学において日本彫刻史を専攻し、24年間にわたり東京国立博物館の研究員を務められた。その後、平成17年（2005年）に清泉女子大学の教授に就任し、後進の育成にあたられ、令和2年（2020年）の退職時には名誉教授の称号を授与されている。山本館長のご専門は主に中世の仏像彫刻史で特に鎌倉時代に活躍した仏師・運慶についてのご研究で多くの成果をあげられている。また平成16年（2004年）から平成30年（2018年）まで鎌倉市文化財専門委員会の委員をお努めいただき、鎌倉市指定文化財の指定にもご尽力いただいた。鎌倉市内及び近隣の社寺から、中世の美術作品の寄託を数多く受けている鎌倉国宝館としては、今後、山本館長からその知識やご経験を基に館の運営についてご指導、ご助言を賜りたいと考えている。

(質問・意見)

岩岡教育長

中世の彫像研究では本当にビックネームでいらっしゃる方で、博物館の経営経験もあり、非常に力強い館長をお迎えできたのではないかと思いますので、鎌倉国宝館の運営に期待していきたいと思う。

(報告事項オは了承された)

カ 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」にかかる取組について

岩岡教育長

次に報告事項カ「大河ドラマ「鎌倉殿の13人」にかかる取組について」報告をお願いします。

教育文化財部次長兼生涯学習課担当課長

報告事項カ「大河ドラマ「鎌倉殿の13人」にかかる取組について」ご報告する。議案集22ページをご覧ください。令和4年(2022年)1月よりNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送が始まる。本市を舞台とする大河ドラマの放映は、広く鎌倉の歴史文化を再認識していただく好機であると捉え、これまであまり大きく取り上げられることがなかった北条義時公を主人公とする物語は、鎌倉の新しい魅力の発信となり、鎌倉の歴史文化への更なる関心を深めるきっかけとなるものと考えことから、本市でも重要な施策として取組を行っているところである。

今回は公立の博物館をはじめとする鎌倉市の取組の状況について報告する。資料1をご覧ください。こちらは令和3年度(2021年度)及び令和4年度(2022年度)にかけての取組スケジュールとなる。歴史や文化を発信する博物館としては、令和4年(2022年)1月の放映開始前から、北条義時公を中心とした、様々な取組を開始していきたいと考えている。それでは、表の中段にご注目いただきたい。まず、連続講座である。関連資料は資料2となる。こちらは、北条義時公とその時代の学術的な研究を学んでいただくものである。月1回開催の講座をテーマを変えながら連続して行っていく。講師は、本市学芸員の他、外部講師を招くことも視野に入れて、鎌倉の歴史をじっくり学んでいただくことを目的としている。現在は、新型コロナウイルス感染症のため、20人程度の募集としているが、感染状況を注視しながら、弾力的な受講体制を検討していく。その他、地下道ギャラリー、ホームページ、Twitter等、ソーシャルネットワークによる情報発信も併せて行っていききたいと思っている。特に、令和3年(2021年)2月26日に開局した鎌倉歴史文化交流館と鎌倉国宝館共同の公式YouTubeチャンネル「かまくらミュージズちゃんねる」では、幅広い年齢層の方が理解できるよう、パペット人形やイラスト等を使い、学芸員による展示解説を動画の配信等を通じて行っていく。さらに、鎌倉国宝館及び鎌倉歴史文化交流館では、北条義時公をはじめ、その時代に特化した企画展や特別展示を行っていく。資料1の上段をご覧ください。また、関連資料は資料の3と4となる。鎌倉国宝館では、令和4年(2022年)春にプレ展示を、また令和4年(2022年)夏には北条義時公にかかる特に貴重な文化財の展示を行っていくのでご期待いただきたい。鎌倉歴史文化交流館では、令和3年(2021年)夏から、市

内からの出土品展示を中心に、北条氏やその時代に関する特集展示を行っていく。また、今後の展示と併せて、お子様も楽しめる体験学習的なイベントも画策して行きたいと考えている。

なお、北条義時公ゆかりの地である社寺や史跡等の紹介をしていく中で、本市の管理する北条義時法華堂跡においては、来訪者が安全にご覧いただくための手すりの整備を行う他、より理解等を深めていただくために説明板等の設置、また、現在湘南工科大学と共同で当時の法華堂建物のイメージをスマホ等でご覧いただけるようなAR技術を使ったデジタルコンテンツの開発を行っている。こちらについては、令和3年（2021年）12月末のリリースを予定している。

博物館としては、これらの取組の他、鎌倉国宝館や鎌倉歴史文化交流館へ来館された方が鎌倉の歴史文化により興味を持っていただき、さらには現地にある社寺や史跡等の他、この後、説明する大河ドラマ館にも訪れていただき、多くの歴史や文化に触れていただくきっかけを作りたいと考えている。この際には、社寺はじめ関係部署との連携を十分に図っていきたいと思っている。大河ドラマ館の取組については、引き続き大河ドラマ担当から説明する。

市民防災部次長兼大河ドラマ担当課長

引き続き、大河ドラマ館について報告をさせていただく。本市では、令和4年（2022年）1月から放送開始予定の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」について、昨年度4月より観光課に大河ドラマ・オーバーツーリズム担当を新設し、先行自治体の実践事例の調査及び本市での取組方について、検討を重ねてきた。

本年1月には課相当として大河ドラマ担当を設置し、市内商工業者等と協働して事業を推進するべく、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」鎌倉市推進協議会を立ち上げることとし、本年2月3日に設立総会を開催した。

協議会は大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送を契機に、その舞台となる鎌倉市及び関係自治体の歴史・文化を全国に発信するとともに、混雑対策など地域の課題を踏まえた観光振興による地域の活性化を図ることを目的とするものである。その実務は全体を管理し、広報等を総括する総務部会を筆頭に、大河ドラマ館部会、市内の賑わいを検討調整する地域・コンテンツ部会、オーバー・ツーリズム課題を検討し、対策を講じていくIT・交通部会といった大きなくくりでの部会により事業を進めていく。大河ドラマ館の設置・運営はこの協議会の中軸業務であり、大河ドラマ館はドラマの衣装、小道具、セットの他メイキング映像、出演者の等身大パネル等の展示によりドラマの世界観が体験できる施設となるものである。設置場所については現在、鶴岡八幡宮境内の旧県立近代美術館、現鎌倉文華館鶴岡ミュージアムでの設置を予定している。ドラマ館の運営方針の主眼としては、コロナ禍の終息が見通せない状況が続くなか、感染拡大防止の観点から、先行自治体で見られたような団体客の動員は優先しない方針で調整を進めている。ドラマの主人公がこれまで一般的には広く知られることの無かった北条義時公ということから、大河ドラマ放送を契機に鎌倉の歴史文化への興味関心を改めて高めていただけるよう、先に説明があったとおり、鎌倉国宝館と鎌倉歴史文化交流館等と市内文化施設と一体感をもった企画内容を検討している。

今後大河ドラマ館の設置とともに鎌倉の歴史文化愛好者に来訪いただき、観光客分散化も踏まえた方策として、大河ドラマに関連する施設やゆかりの地を巡る周遊ルートの開発にも取り組んでいく。

こうした取組の主眼はテレビドラマを契機とした歴史認識の刷新である。鎌倉時代ということで一般

に広く想起されるのは源頼朝、義経、実朝などの源氏の歴史であるが、四代将軍頼経以降は執権を担った北条氏が極めて重要な役割を果たしている。その契機となった2代執権義時公の事跡が注目されるこの度のテレビ放映の機会を捉えて、鎌倉の子どもたちをはじめ、多くの皆様にとって新たな歴史認識が広がる好機となるよう、市民力を結集し、事業に取り組んでいきたいと考えている。

(質問・意見)

下平委員

いただいた資料にNHK大河ドラマ館と書いてあるのは、今お話があった鶴岡ミュージアムのことであるか。

市民防災部次長兼大河ドラマ担当課長

大河ドラマ館については、現状では旧近代美術館の跡地である鶴岡ミュージアムを予定しており、交渉しているところである。

下平委員

NHKの建物には、大体大河ドラマなど朝のドラマ等には立派な館があるが、それと連携するような形で協力が得られるものなのか。

市民防災部次長兼大河ドラマ担当課長

NHKの放送センターと一部、例えばドラマの衣装であるとかそういったものはある。一方、こちらに来ていただいて、実際に鎌倉の歴史に触れながら鎌倉の特徴として示していけるものも併せて出していければと思っている。そのため、一部、NHKの放送センターにあるようなものについては、下平委員のおっしゃられたとおりの内容になると思う。

下平委員

NHKは立派な展示をなさっているので参考にできると盛り上がったものになるかと思うし、協力が得られるのであれば、出演者の方々に是非とも来ていただいて、この機会に盛り上げてほしいと思うので、色々ご苦勞などあるかと思うがよろしく願います。特に今こういう時期で、来年度どうなるかは分からないが、皆が家にいてドラマを観る機会が増えて、子どもたちも大河ドラマや歴史に興味を持つという流れが昨年度も今年度もあるので、是非そういう意味で盛り上げたいと思うのでよろしく願います。

朝比奈委員

だいぶ昔に大河ドラマで北条時宗があった時には何の関わりも持つことがなく、番組が始まって終わったような記憶がある。時宗のドラマの中の無学祖元という円覚寺の最初の御開山の子役をやったのが筒井康隆氏であったのだが、その方の演技指導という立場で何回か渋谷のスタジオにお伺いしたのを懐かしく思い出した。今回の力の入れ方はなかなかのもので、我々社寺の方でも色々な方が関わると思う

が、是非この機会に鎌倉の歴史を皆様に伝えたい。また、そのオーバーツーリズムも含めて、三浦地域も含めて、是非色々な方々が広く、集中することなく関心が寄せられるようなものを整えていくきっかけになればありがたいと思う。

市民防災部次長兼大河ドラマ担当課長

今、朝比奈委員がおっしゃられたように、大河ドラマに対する取組というのは、鎌倉市は一度もやったことがないと言っても過言ではない状況であった。今回初めて大河ドラマに関する取組を市として、また商工業者を含めた市の全体で取り組みたいと考えて推進委員会を立ち上げたところである。今まで大河ドラマ館の設置については先行事例がある。各市なかなか大河ドラマ館だけを核とした内容で他に広がりがないような状況である。鎌倉はそこが違うだろうと、何よりもリアルな歴史の物がたくさんある、ここを皆様に知ってもらうことが何よりも重要なことではないかと思っており、朝比奈委員がおっしゃられたように色々な所と連携をしながら、文化に触れていただける機会の接点になるようにしたいと考えているのでよろしく願います。

岩岡教育長

大河ドラマは非常に魅力的であり、ただ大河ドラマを見ているだけでは、視聴者は何故こういうことをしているのかということが流れていってしまうと思う。そこに時代背景や意義付けがあって、大河ドラマの経験というのはさらに豊かになっていくと思っており、教育委員会の役割はまさにそこであると思っている。時代考証などの様々な研究成果をもとに、大河ドラマの内容や経験をさらに豊かにしていくということが教育委員会でできればよいと思っている。そこで核となる、1番重要な役割を担うのはやはり学芸員たちであると思っている。鎌倉歴史文化交流館でも中世の文書資料にもものすごく詳しい方や刀剣オタクのような方もいるし、鎌倉国宝館に行けば中世の彫像を語らせたらもう止まらない方がいたり、皆様それぞれ凄くマニアックな趣味や熱い思いがある。鎌倉ミューズチャンネル、YouTubeチャンネルができたが、今企画展の動画がアップされたところで是非ご覧になっていただきたいのであるが、学芸員の想像力が爆発しており、また動画制作についても知見のある者がいるということで、手書きの絵や字幕など色々なものを組み合わせながら、魅力的なコンテンツを作っている。連続講座も学芸員が大活躍するものとして企画されていて、非常に素晴らしいと思っているのだが、是非若い学芸員の方々からもアイデア出しをしてもらって、色々なことができればいいと思っている。私が思いついたのは大河ドラマの放映が始まったら、例えば、実際に放映されている大河ドラマを学芸員が自分の研究の視点からはここがよく作ってある、こういう所が面白いのだということをミューズチャンネルでパペットを使いながら解説をしていくと学芸員の仕事の成果が実際に生かせるし、大河ドラマとの連携で視聴者も増えて、チャンネル登録者数も増えていくと思う。また鎌倉歴史文化交流館や鎌倉国宝館とかのアピールにも繋がっていくことにもなるので、ぜひ学芸員×大河ドラマといった所も何か考えていければよいと感じた。

下平委員

今、お話を伺っていて子どもたちも巻き込みたいと思った。おそらく子どもの中にも歴史オタクという子は結構いると思うし、せっかく来年大河ドラマが放映されるのであるから今から研究を進めていっ

て、それで実際に番組を見て新たに気付いたことをまとめていくといったような、そういうグループができればかなり刺激にもなるし、盛り上げにもなるであろう。そういう人たちがまたミュージアムで発表したり、そういったことをしていただけると、子どもも大人も巻き込んだような動きになると思うので、考えてくださっているかもしれないが面白いと思う。

教育文化財部次長兼生涯学習課担当課長

皆様からのご期待に感謝する。博物館としてもご期待に応えられるように、じっくりよい企画を目指してやっていきたいと思う。

岩岡教育長

それでは教育委員の皆様についてはミュージズチャンネルの広報、宣伝等よろしく願います。

(報告事項は了承された)

キ 行事予定

(令和3年(2021年)4月14日～令和3年(2021年)5月31日)

岩岡教育長

次に報告事項キ「行事予定」について特に伝えたい行事予定があれば願います。

(教育文化財部)

特になし。

(質問・意見)

特になし。

(行事予定報告は了承された)

2 議案第1号

令和3年度(2021年度)教育文化財部工事年間計画について

岩岡教育長

それでは、次に日程の2議案第1号に入る。「令和3年度(2021年度)教育文化財部工事年間計画について」を議題とする。議案の説明をお願いする。

学校施設課長

日程第2議案第1号「令和3年度（2021年度）教育文化財部工事年間計画について」説明する。議案集の31～32ページをご覧いただきたい。本件は鎌倉市教育委員会事務の教育長への委任等に関する規則第2条第1項第5号に基づき、見積もり価格が1件1,200万円を超える工事の計画策定についてお諮りするものである。令和3年度（2021年度）工事年間計画表をご覧いただきたい。はじめに学校施設関係である。西鎌倉小学校の「外壁等改修工事」は既に外壁の改修工事を行った校舎南棟の北面と西面及び渡り廊下の西面を除く外壁の改修並びに体育館につながる鉄骨橋の取り換えを行うものである。御成小学校のウッドデッキ等改修は校舎周りのウッドデッキ等の改修を行うものである。関谷小学校の特別支援学級教室改修工事は令和4年（2022年）4月に予定している特別支援学級教室の開級に伴い、2階の多目的室及び少人数教室を特別支援学級教室に改修するものである。以上で学校施設に関する工事案件の説明を終わる。

文化財課長

引き続き、日程第2議案第1号「令和3年度（2021年度）教育文化財部工事年間計画について」、文化財課所管部分を説明する。議案集は同じく31ページ、32ページをご参照いただきたい。史跡大町釈迦堂口遺跡の隧道部分については、前面斜面の崩落のため、平成22年（2010年）から通行ができない状態となっており、隧道上部にあるやぐらの保護と隧道の通行の安全確保の両立を図るため、平成28年度（2016年度）から令和元年度（2019年度）にかけて崩落の危険性調査、基本設計、施行計画の検討、詳細設計を実施してきた。これらの成果をもとに令和2年度（2020年度）から工事に着手する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業の見直しに伴い着手を見送っていたものである。改めて令和3年度（2021年度）に崩落対策工事に着手し、令和4年度（2022年度）にかけて2年間の予定で工事を実施するものである。

（質問・意見）

特になし

（採決の結果、議案第1号は原案どおり可決された）

3 議案第2号

令和4年度（2022年度）使用教科用図書の採択方針について

岩岡教育長

次に日程3議案第2号に入る。「令和4年度（2022年度）使用教科用図書の採択方針について」を議題とする。それでは議案の説明をお願いします。

教育指導課長

日程第3議案第2号「令和4年度（2022年度）使用教科用図書の採択方針について」説明する。議案

集は 33 ページから 35 ページをご参照いただきたい。令和 4 年度（2022 年度）に本市で使用する教科用図書の採択にあたり、その方針を定め、採択までの事務手続き等を滞りなく進めていこうとするものである。

「1 基本的な考え」は「(1) 国、県の方針等を踏まえて採択する」、「(2) 公正・適正を期し採択する」、「(3) 本市の児童生徒にふさわしいものを採択する」の 3 点とする。

「2 採択の手続」については、これまで文部科学省から調査研究の充実に向けた条件整備や、採択手続の改善等の方針や公正かつ適切な教科書採択の実施について、留意事項が示されていることを受けて、本市教育委員会は次の手続きにより教科用図書を採択する。

小学校用図書については令和元年度（2019 年度）に採択した教科用図書と同一のものを採択する。また中学校用教科用図書について、令和 3 年度（2021 年度）においては、中学校社会科の自由社の「新しい歴史教科書」が令和 2 年度（2020 年度）に文部科学大臣の検定を経て、新たに発行されることとなったが、鎌倉市としては令和 2 年度（2020 年度）に行った教科用図書採択において、十分に調査・検討して採択を行ったと判断し、中学校社会科についての改めての調査は行わず、令和 2 年度（2020 年度）に採択した教科用図書と同一のものを採択する。なお、特別支援教育関係用教科用図書については、一人ひとりの特性や教育的ニーズに合った図書を採択する必要があることから、毎年採択を行うこととなっているので、記載のとおり鎌倉市特別支援学級設置校長会において、文部科学大臣から県教育委員会を通して送付された特別支援学校用（小・中学部）教科書目録、一般図書一覧、一般図書契約予定一覧、新たに掲載された図書等をもとに調査研究を行い、その報告を受けて採択することとする。

続いて、「3 採択の日程」については、小学校及び中学校用教科用図書は 7 月の本教育委員会において採択し、特別支援教育関係用教科用図書については、5 月に設置校長会に教科用図書の調査研究を指示し、設置校長会から特別支援教育関係用教科用図書一覧の報告を受け、7 月に採択する。

（質問・意見）

岩岡教育長

長尾委員もいるので一応補足をする。義務教育の教科用図書は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律があり、それに基づいて原則 4 年に一度の採択を行うことになっている。採択している教科書が発行されなくなった場合等もあるので、念のため、毎年使用教科用図書の採択行為を教育委員会でやるが、原則同一の教科書を採択するというので、自由社の教科書については昨年度十分な調査研究を経て、それも含めて議論をした結果採択をしており、今回は採択替えなしという方針でご提案をいただいている。特別支援教育については、毎年入ってくる子どもも違えば状況も違うので、毎年採択替えをするということで調査研究を行っている。8 月 31 日までに採択する法令になっているため、7 月の教育委員会で採択するということである。

下平委員

令和元年（2019 年）、令和 2 年（2020 年）と私も誠実に採択したつもりでいるが、7 月に採択ということなので、ぜひ学校の先生方の声、実際に使ってみてどうかをしっかりと汲んで、また検討が必要ならばしっかりと検討したいと思っているので、先生方からそういう声が挙がっていないかも併せてご報

告いただいた上で、検討したいと思うのでよろしく願います。

(採決の結果、議案第2号は原案どおり可決された)

4 協議事項

教育委員会の審議会等における書面会議開催等の方針について

岩岡教育長

それでは日程4協議事項「教育委員会の審議会等における書面会議開催等の方針について」協議する。協議事項の説明をお願いします。

教育文化財部次長兼教育総務課長

日程4協議事項「教育委員会の審議会等における書面会議開催等の方針について」、提案の理由を説明する。議案集は36ページから44ページをご覧ください。令和3年(2021年)4月1日付で鎌倉市審議会等に関する指針が改正され、併せて審議会等におけるオンライン会議や書面会議の運営について統一的な運用を定めるため書面会議運営の手引きが策定された。審議会等とは法律や条例に基づき設置される附属機関や、要綱等に基づいて設置される委員会、協議会等がこれにあたるので、教育委員会協議はこれに含まれるものではない。内容としては鎌倉市審議会等に関する指針において、オンライン会議の取扱いの明確化や、書面会議の透明性の確保等に課題もあることから、開催は市長が認める場合に限るなどが新たに定められた。また書面会議運営の手引きにおいては、書面会議開催にあたっての考え方や、標準的な事務手続きについて示された。これを受けて、教育委員会においても市長部局と同様に、同指針及び手引きに準じる形で、審議会等の運営を行っていきたいと考えておりご協議のほうをお願いしたいと思う。

(質問・意見)

岩岡教育長

これは市長が困難と認める時というのは当然、教育長と読み替えるという認識でよいのか。

教育文化財部次長兼教育総務課長

その認識でよい。

(協議事項「教育委員会の審議会等における書面会議開催等の方針について」は了承された)

岩岡教育長

以上で、本日の日程は全て終了した。これをもって4月定例会を終了する。